

## 開 催 概 要

“「伝統建築工匠の技」を考える（第1回）—木造建造物に係る伝統技術の活用拡大を目指して—”が、平成30年4月21日（土）、国立文化財機構東京文化財研究所において開催されました。

当日は、会員以外も含め80名を超える参加者があり、青柳先生、鈴木先生、山崎文化庁文化財部長から貴重なお話をいただき、改めて、木造建造物を受継ぐための伝統技術について文化的及び技術的な観点から意義を確認するとともに、ユネスコ無形文化遺産一覧表への登録の意義や当会が果たさなければならない役割について理解を深めることができました。

また、梅原猛先生、文化財建造物保存修理研究会の藤井恵介会長から、会の活動への期待と激励のメッセージをいただきました。

なお、本会は、“東京2020 参画プログラム”として開催されました。

当日の次第は、次の通りです。

○開会挨拶 佐々木 正 峰（会 長）

○木造建造物と伝統技術の意義（文化的観点から）  
青 柳 正 規（元文化庁長官）

○木造建造物に係る伝統技術と技術者（技術的観点から）  
鈴 木 嘉 吉（元国立奈良文化財研究所長）

○「伝統建築工匠の技」のユネスコ無形文化遺産登録について  
山 崎 秀 保（文化庁文化財部長）

[敬称略]

なお、次回の課題等についてご意見や要望等があれば、下記のメール宛ご連絡ください。

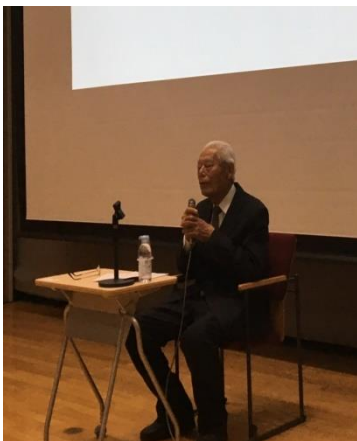
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-17-10	アクセスビル6F
E-mail: kenchikukosho@gmail.com	URL: kenchikukosho.jp



佐々木会長



青柳先生



鈴木先生



山崎文化庁文化財部長